

# あだたら

第418号  
発行所 町会  
山喜久田 山部  
郡山市 山部  
あだたら 編集

八月六日 (日)

登山道整備 湯川溪谷、  
荒竜岩下橋架け替え作業

報告 編集部



8時18分、奥岳登山口

安達太良山湯川溪谷登山道、荒竜岩下橋の掛け直し作業を行った。昨年の八月三日夕方からの大雨で湯川溪谷登山道では橋八本の内七本が流された。当会は昨

年の内に緊急を要する「馬返し橋」「天狗の庭橋」は回復させた。今年も山開き前に「荒竜岩橋」「荒竜岩下橋」「天狗岩上橋」を回復させた。このうち「荒竜岩下橋」は手近の流木集めての架橋だったため、登山

●編集部連絡先  
二本松市 町内1-1-515  
0243 (22) 4245  
Fax 可 渡辺 正

者から「渡るのが不安」との声が寄せられていたので、支給材料による、掛け直しを行ったもの。

大部分の架橋材料は先月三十日に会員により現地に運ばれていた。六日には、会員など十名が参加。橋板三枚などの追加材料を持参、架橋作業を行った。架橋作業は、鉄パイプ二本を敷いて、その上にハシゴを載せて番線で固定。橋板三枚を渡し、橋板にドリルで穴明けしてハシゴに番線留めを行った。作業中、一般の登山者も訪れたが、新しい橋、何の不安も感じないようで、嬉々として、渡っていた。

丈夫な橋ではあるが、多人数で渡ったり、橋の上で飛び跳ねたり、橋に負担掛けるような行為は行わず、大事に利用したい。



勢至分岐にも工事車両



馬車道終点に 橋板来ていた



11時8分 橋板3枚共、架橋現場到着



橋板固定作業



13時14分、新しい橋完成、前の橋もそのまま



パイプとハシゴ、橋板の固定



完成した橋の裏側

八月十一日 (金)

山の日、清掃登山・親子登山  
安達太良山

報告・編集部



15時52分、無事下山して集合写真

朝八時奥岳集合。一寸早  
めに到着。受付済ませたら、  
「山の日親子登山コースタ  
イム表」という資料配られ  
た。①コースタイム、注意  
事項、準備品。②清掃登山  
参加者名簿。③親子登山ル

ト図、と言うもの。  
親子登山の参加者数は書  
いていなかったが、四班で  
十人くらいだったか(よく  
覚えて居ない)、清掃登山  
は名簿だと四十三名だ。去  
年の清掃登山箕輪山で、石

回収しよ  
うとしたが、手袋しかない、  
行き過ぎたが、手袋ある  
のだからと、戻って回収し  
ようとして、手を伸ばしか  
けたら、「ゴミばさみ」出  
してくれた人がいた。おそ  
らく清掃登山参加者だ。「お  
願います」と頭下げて、  
回収お願いして列に戻っ  
た。後は白山石楠花の確認

石楠花咲いているはずだ。  
見つけたら八重であるかな  
いか確認しながら登ろうと  
思う。木道途中で、右側に  
ちり紙の集まりがあった、  
おそろしく人糞だ。回収しよ  
うとしたが、手袋しかない、  
行き過ぎたが、手袋ある  
のだからと、戻って回収し  
ようとして、手を伸ばしか  
けたら、「ゴミばさみ」出  
してくれた人がいた。おそ  
らく清掃登山参加者だ。「お  
願います」と頭下げて、  
回収お願いして列に戻っ  
た。後は白山石楠花の確認

ロープウェイ山頂駅で全  
員集合して、親子登山の参  
加者から出発、当会は一班  
なので、早めに出る。この  
時期ちょっと遅いが、白山  
石楠花咲いているはずだ。  
見つけたら八重であるかな  
いか確認しながら登ろうと  
思う。木道途中で、右側に  
ちり紙の集まりがあった、  
おそろしく人糞だ。回収しよ  
うとしたが、手袋しかない、  
行き過ぎたが、手袋ある  
のだからと、戻って回収し  
ようとして、手を伸ばしか  
けたら、「ゴミばさみ」出  
してくれた人がいた。おそ  
らく清掃登山参加者だ。「お  
願います」と頭下げて、  
回収お願いして列に戻っ  
た。後は白山石楠花の確認



7時51分、受付



受付



アサギマダラ

だ。急ぐ山旅でない。樹氷  
坂、向って右側は、元の登  
山道だ。赤土の崖というか  
溝というか、こういう所を  
登っていたのだ。今壊れか  
かっているが、階段になっ  
ている登山道の何と有難い  
事か。大雪田の登り切り、  
崖に「アカモノ」の実が沢  
山あった。八月上旬なので  
ちよっと早い。沢山の実  
が見られる。まだ早い  
味は良い。美味しい時期は  
こんなには沢山見られない、  
と言う事は、誰か、人が動  
物かは別として、食べてし  
まっているのかも知れな  
い。山頂下水平道にも八重  
白山石楠花があるが、説明し  
ていたら飽きられてしまっ



アカモノの実

たらしく、無視された。  
山頂広場で昼食。終わっ  
て山頂の尖りに登る、東側  
の一部崩れて、トラロープ  
張ってあるが、不慣れた人  
は通れない。今はその手前  
の急な岩壁を登る、山頂に  
は人が一杯。会津駒ヶ岳は  
山頂が雲に隠れていた。下  
り途中南側には「化け物」  
の顔があるが、話聞くと人  
はいない。PRの方法考えよ  
う。ブログにはアップして  
あるが。

山頂稜線、「黒豆ノ木」  
の実が熟し始めて居る。未  
熟な緑色のもあるし、紫色  
に熟したのもある。とても  
美味しい。「矢筈ヶ森」の  
沢には、「毛氈苔」の群落  
があり、白い花も咲いてい  
た。「峰ノ辻」、新しい立

派な「道標」があるが、「現  
在地」を示す標識が無い。  
道標には現在地が不可欠  
で、地図との照合が出来な  
い。市役所には話して置い  
て、くるがね小屋、閉じて  
いるが、携帯トイレのテン  
トがあった。岳温泉の「安  
達太良自然センター」が設  
置した物だ。金明水あたり  
奥岳に到着した。



11時14分、山頂



14時46分、怪我人を背負う

では、アサギマダラ発見。  
勢至平登山道の足許の岩  
に穴開けてある、岩割るた  
めらしく、割られた石もあ  
った。くるがね小屋工事務  
の道路改良工事だ。  
馬車道の「一八之字」で  
列が止まった。親子登山の  
参加者が抜けなくなったら  
しい。矢筈の避難小屋跡あ  
たりで、転んで、手当受け  
ていた子供らしい。白河山  
岳会の□□□□□さんが背  
負って、下り始めた。途中  
若い人と二回交代、途中で  
もう一度□□□□□さんに戻し  
て、午後四時ちょっと前に、  
奥岳に到着した。



下山報告?

八月二十一日(月)

個人山行 浅草岳トレッキング剣が峰

報告 □□□□



12時54分、今日の「山頂」にて

浅草岳へは福島国体の頃山開き中心に四〇五回登った事があるが、その後登っていない。もう一度、剣ヶ峰の登山道のブナの古木、幹廻り三〇四m位はある天然林を見たく計画。八月二十一日、信頼できる友と行く。二本松五時出発、会津坂下より国道二五二号を登山口の只見沢登山口駐車場へ。八時三十五分、風無く晴天。暑く、登山日和とは言えない。九時出発、古い木道には草が多い。草をかき分け木道はナナメに成



13時27分、巨大ブナ林

り、水アカで滑り易い。木道から解放され、林の中の道安心して歩ける。幽の倉沢の足場パイプの仮橋を渡る(九時五十分)。ジグザグの登山道を登ると今回の目的であるブナ林である。道には、木の根が多くあるが段差がないので歩き易い。大久保沢水場で休憩。ジグザグの急登を尾根へ。急な大きなジグザグの道となる。ブナ林はあるが暑さと疲れて廻りを見る余裕など無い。九十九折とあって真夏の登山には向いていない様だ。目の前には浅草岳



9時15分、登山口



14時18分、足場パイプの橋

たい風、頭の上でゴロゴロ、間もなく雨となる。カッパ着る間もない。登山口まで近いので、このまま下山。予定の三時に下山する事が出来、登山口にある田子倉休憩場所に着替へ。一番近い只見保養センターの風呂に入ろうと来たが、月曜日

会創立当時の会員名簿

報告 事務局

事務局に、会創立当時の会員名簿がある。諸先輩から、色々な物預かったりしているの、どなたかからお預かりしたのだろうけど、詳細は不明。

Table with columns for member names and other details, representing the founding members of the club.

会創設時の会員名簿

土木事務所長が居られる。欲しい方にはコピーお渡しできます。 ◆編集後記 四一八号 ◆三日の僧悟台登山道整備、急な変更(延期)で申し訳ありませんでした。昨年登山道整備の日とトレイルランの日重なってしまいましたが、①「馬返し橋」の掛け直し、②湯川溪谷の状況偵察、を行っただけで、「お互い」に「邪魔」には成らない程度の重なりでした。今回は実際の「草刈り」、「後片付け」作業、「競技」とは相容れない状態なので、メールでの役員会で延期決定した訳です。 ◆作業範囲の中でも鉄山と箕輪山間の「縦走路」、笹が茂っていると言います。 ◆笹は秋に刈ると、翌年の伸び「抑えられる」と言います。 やりましょう。 ◆編集部の起床は午前四時、ペランダに出ると、木幡山がよく見える。最近その上にとても明るく輝く星が現れた。瞬かないので惑星に違いなかった。金星だった。ピーナスだ、女王様だ。少し嬉しかった。 ◆今日は六日、会報何とかでき上がった。明日の例会に間に合った。 ◆個人山行の記事下さい、メールだと有り難いのです。が、手書きも歓迎、FAXも受信できます。